

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	情報電子工学科	教授	阿部 正英	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	フレッシュマンセミナーA、フレッシュマンセミナーB、現代工学概論、情報社会論、プログラミング論Ⅰ、プログラミング論Ⅱ、画像情報工学、情報技術者専門科目Ⅱ、基幹工学実習、情報電子工学実験Ⅲ、情報電子工学実験Ⅳ、情報電子工学実験Ⅴ、情報電子工学演習、卒業研究		公表
(2) 大学院担当科目	ソフトウェア工学特論、情報システム構成特論、数理情報工学特論		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	画像・映像信号処理に関する研究	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	該当なし	公表
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	2022 年 9 月 28 日～29 日	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	第 68 回仙台市児童・生徒理科作品展、その他	
	役割	助言・指導、その他	
	主催者・発行元、場所	仙台市教育委員会・仙台市小学校教育研究会理科研究部会・仙台市中学校理科教育研究会、スリーエム 仙台市科学館	
	対象	小学生、中学生、教育関係者	
	概要	第 68 回仙台市児童・生徒理科作品展における審査員	

活動			
2	期間	2022 年 9 月 14 日	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	専修大学北上高等学校 高大接続科目（総合科目Ⅰ）画像映像信号処理、出前授業	
	役割	講師	
	主催者・発行元、場所	専修大学北上高等学校	
	対象	高校生	
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	研究助成審査専門委員会委員		
2	情報電子工学科2年生担任		
3	「数理データサイエンス（リテラシーレベル）教育」の専門部会 座長		
4			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	情報電子工学科	教授	阿部 正英	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	フレッシュマンセミナーA、フレッシュマンセミナーB、現代工学概論、情報社会論、プログラミング論Ⅰ、プログラミング論Ⅱ、画像情報工学、情報技術者専門科目Ⅱ、基幹工学実習、情報電子工学実験Ⅲ、情報電子工学実験Ⅳ、情報電子工学実験Ⅴ、情報電子工学演習、卒業研究		公表
(2) 大学院担当科目	ソフトウェア工学特論、情報システム構成特論、数理情報工学特論		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	画像・映像信号処理に関する研究	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	該当なし	公表
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	2022 年 9 月 28 日～29 日	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	第 68 回仙台市児童・生徒理科作品展、その他	
	役割	助言・指導、その他	
	主催者・発行元、場所	仙台市教育委員会・仙台市小学校教育研究会理科研究部会・仙台市中学校理科教育研究会、スリーエム 仙台市科学館	
	対象	小学生、中学生、教育関係者	
	概要	第 68 回仙台市児童・生徒理科作品展における審査員	

活動			
2	期間	2022 年 9 月 14 日	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	専修大学北上高等学校 高大接続科目（総合科目 I） 画像映像信号処理、出前授業	
	役割	講師	
	主催者・発行元、場所	専修大学北上高等学校	
	対象	高校生	
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	研究助成審査専門委員会委員		
2	情報電子工学科2年生担任		
3	「数理データサイエンス（リテラシーレベル）教育」の専門部会 座長		
4			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	情報電子工学科	准教授	木村 健司	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	情報活用法 II、コンピュータ概論、情報システム概論 IA、情報システム概論 IB、情報社会論（複数担当者科目）、物理学実験（複数担当者科目）、情報電子工学実験 III（複数担当者科目）、情報電子工学実験 IV（複数担当者科目）、情報電子工学実験 V、情報電子工学演習、フレッシュマンセミナー（複数担当者科目）、卒業研究、現代工学概論（複数担当者科目）、基幹工学実習（複数担当者科目）		公表
(2) 大学院担当科目	ソフトウェア基礎科学特論、情報論理学特論		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	バーチャル空間におけるグラフアルゴリズムの可視化	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			公表
1	言語種別	英語	
	発行・発表の年月	2022/9/14	
	形態種別	研究論文（国際会議プロシーディングス）	
	査読	査読有	
	標題	Regular Graph and Some Vertex-Deleted Subgraph	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	Combinatorics, Graph Theory and Computing. SEICCGTC 2020.	
	掲載区分	国外	
	出版社・発行元	Springer	
	巻・号・頁	388	
	総ページ数	245 - 259	
	著者・共著者	Egawa Yoshimi, Kenji Kimura	
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☒ しない			

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない			

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		
	出願国		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	2021/10 から 2022/11	公表
	活動形態	学術貢献活動	
	タイトル、種別	第 35 回 回路とシステムワークショップ - IEICE	
	役割	実行委員	
	主催者・発行元、場所	電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティ、ハイブリッド開催（北九州国際会議場＋オンライン）	
	対象	研究者	
	概要	本ワークショップは、回路とシステムに関連した分野の研究者や技術者が集い、招待論文や投稿論文、パネル討論を通じて、分野内だけでなく分野間にまたがる境界領域の課題解決と将来の研究分野の探求を目的としています。	

活動			
2	期間	2022/8 から	公表
	活動形態	学術貢献活動	
	タイトル、種別	Special Section on Circuits and Systems	
	役割	編集委員	
	主催者・発行元、場所	電子情報通信学会英文論文誌 A	
	対象	研究者	
	概要	This “Special Section on Circuits and Systems” is organized as a special section of the IEICE Transactions A (issued in January 2024). IEICE Engineering Sciences Society (ESS), System and Signal Processing Subsociety [composed of the Chair: Horoshi Kamabe and Technical Committees on Circuits and Systems (CAS) (Chair: Yoshinobu Maeda), Signal Processing (SIP) (Chair: Toshihisa Tanaka), VLSI Design (VLD) (Chair: Namiko Ikeda), and Mathematical Systems Science and its Applications (MSS) (Chair: Atsuo Ozaki)] held this year’s “Circuits and Systems Workshop” in August 2022. This workshop is held once every year with this year being the 35rd. It has become an established workshop among researchers and engineers in related	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

		fields. Nowadays, a lot of papers are presented and vigorous discussions are conducted. In addition to the high-quality papers presented in this workshop, by accumulating the results of the latest research from various fields, this Special Section aims to contribute to the further advancement of relevant fields.	
--	--	---	--

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	図書委員		
2	入試委員		
3			
4			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	情報電子工学科	教授	工藤 すばる	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	電気回路 A, 電気回路 B, 信号処理基礎論, シミュレーション工学, フレッシュマンセミナー, 情報電子工学実験Ⅰ～Ⅴ, 卒業研究, 情報電子工学演習		公表
(2) 大学院担当科目	修士課程 音響デバイス工学特論, 情報デバイス工学特論, 物質工学特別研修Ⅰ,Ⅱ (情報科学), 物質工学特別演習・実験Ⅰ,Ⅱ (情報科学) 博士課程 弾性波デバイス工学特論, 知能情報工学特論, 物質機能工学博士特別演習・実験		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	情報科学	石巻赤十字看護専門学校	

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項	2022 年 6 月 29 日 2022 年 7 月 20 日, 27 日	高大接続授業「不思議な石ころ」 専修大学北上高等学校で高大接続科目の「総合科目」として上記のタイトルで授業を行った。 産学連携（フォーラムエンジニアリング）によるリスキリング教育の実施 タイトル「やさしい電気回路～回路素子の電圧電流特性～」	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

		2022 年 8 月 4 日	高大接続授業：コンピュータを利用した製品の設計開発～IT デザイン～ 高大接続科目である総合科目Ⅰとして、東松島高校の生徒を対象に、電子回路シミュレータを用いてマルチバイブレータ回路を設計・試作する IT デザインについての授業（実験）を行った。	
		2022 年 10 月 8 日、9 日	大学祭「知の玉手箱」企画での小中学生向けの理科実験の実施 テーマ「走れコンデンサーカー」、「アームロボットの遠隔操作実験」	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1－1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	生体情報検出用高機能触覚デバイスの研究	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1－2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

1－3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	該当なし	公表
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない			

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

学会発表			
1	発表年月日	2022 年 11 月 7 日	公表
	発表テーマ	Vibration Characteristics of the Complex Bar Resonator with Longitudinal-torsional Vibration Converter	
	会議名	第 43 回超音波エレクトロニクスの基礎と応用に関するシンポジウム	
	主催者	超音波エレクトロニクス協会 USE シンポジウム運営委員会	
	学会区分		
	発表形式	口頭発表	
	単独共同区分	単独	
	開催期間	2022 年 11 月 7 日～11 月 9 日	
発表者・共同発表者	Subaru Kudo		
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない			

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			公表
1	受賞年月日	該当なし	
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			公表
1	取得国	該当なし	
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			公表
1	期間	1998(平成10)年～継続中	
	活動形態		
	タイトル、種別	電子情報通信学会 ソサイエティ論文誌編集委員会査読委員	
	役割		
	主催者・発行元、場所	電子情報通信学会	
	対象		
	概要		

活動			公表
2	期間	2001(平成13)年～継続中	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	活動形態		
	タイトル、種別	日本音響学会編集委員会査読委員	
	役割		
	主催者・発行元、場所	日本音響学会	
	対象		
	概要		

活動			公表
3	期間	2004(平成16)年～継続中	
	活動形態		
	タイトル、種別	超音波シンポジウム運営委員会論文委員	
	役割		
	主催者・発行元、場所	超音波エレクトロニクス協会 USE シンポジウム運営委員会	
	対象		
	概要		

活動			公表
4	期間	2004(平成16)年～継続中	
	活動形態		
	タイトル、種別	Japanese Journal of Applied Physics Ultrasonic Electronics 特別編集委員	
	役割		
	主催者・発行元、場所	Japanese Journal of Applied Physics	
	対象		
	概要		

活動			公表
5	期間	2012(平成24)年～継続中	
	活動形態		
	タイトル、種別	圧電材料・デバイスシンポジウム運営委員会運営委員	
	役割		
	主催者・発行元、場所	圧電材料・デバイスシンポジウム運営委員会	
	対象		
	概要		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

活動			
6	期間	2007(平成19)年～継続中	公表
	活動形態		
	タイトル、種別	日本音響学会評議員	
	役割		
	主催者・発行元、場所	日本音響学会	
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	
1	自己点検・評価運営委員会委員長	2019(令和元)年4月～継続中	公表
2	理工学部教務委員会委員	2019(令和元)年4月～継続中	
3	情報電子工学科主任	2021(令和3)年4月～継続中	
4			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	
*****	*****	非公表

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	情報電子工学科	教授	佐々木 慶文	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	現代工学概論，フレッシュマンセミナーA/B，基幹工学実習，情報システム概論 IIA/IIB，情報技術者専門科目 I，情報社会論，物理学実験 I/II，組み込みソフトウェア，情報電子工学実験 III/IV/V，情報電子工学演習，卒業研究		公表
(2) 大学院担当科目	知能情報システム工学特論，計算機システム工学特論		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）			
(2)	作成した教科書、教材、参考書			
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等			
(4)	その他教育活動上特記すべき事項	2022/12/1 2022/12/15	NS ウェスト社のリメディアル教育の一環として，計算機システムに関する講義を行った。 聖光学院高等学校にて，情報工学分野の学びに関する講義を行った。	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	組込みシステムとその応用	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	該当なし	公表
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない			

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	2022/08/24	公表
	発表テーマ	人型ロボット Pepper による地域の ICT 人材育成と活性化	
	会議名	電気関係学会東北支部連合大会	
	主催者	電気関係学会ほか	
	学会区分	地方学会	
	発表形式	口頭（一般）	
	単独共同区分	単独	
	開催期間	2022/08/23～2022/08/24	
	発表者・共同発表者	佐々木 慶文	
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない			

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

学会発表			公表
2	発表年月日	2022/09/14	
	発表テーマ	S-box による xorshift 乱数の非線形化	
	会議名	FIT2022(第 21 回情報科学技術フォーラム)	
	主催者	情報処理学会	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	口頭（一般）	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2022 年 9 月 13 日～15 日	
	発表者・共同発表者	劉 忠達, 佐々木 慶文	
			個人研究費課題 ☐ 該当 ☒ しない

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			公表
1	期間	該当なし	
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			公表
1	発表年月日	該当なし	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			公表
1	受賞年月日	該当なし	
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			公表
1	取得国	該当なし	
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			公表
1	期間	該当なし	
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

活動			公表
----	--	--	----

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2	期間	該当なし	
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	情報教育研究センター長		
2	学校法人専修大学情報セキュリティ委員会委員	情報教育研究センター充職	
3	学校法人専修大学個人情報保護委員会（個人情報部門責任者）	情報教育研究センター充職	
4	個人情報保護運営会議委員	情報教育研究センター充職	
5	広報委員会委員		

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	情報電子工学科	教授	中込 真二	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	電子回路、センサ工学、電気・電子回路応用、集積回路工学、フレッシュマンセミナーA・B、現代工学概論、基幹工学実習、化学実験、情報電子工学実験Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、情報電子工学演習、卒業研究		公表
(2) 大学院担当科目	機能デバイス工学特論、集積回路工学特論、電子機能素子工学特論、半導体機能デバイス工学特論		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし	該当なし	

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		基幹工学実習において機械工学科学学生のためのテスターの実習で使う回路教材を準備した。	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		R4 年度から、情報電子と機械のカリキュラムの変更があり、両学科の合併授業、あるいは、私が機械工学科のみを一部担当することがあった。新規の現代工学概論、基幹工学実習の中である。	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
該当なし	該当なし	該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	ワイドバンドギャップ半導体に基づくデバイスの研究	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	
*****	*****	非公表

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	全て酸化物からなる新規ワイドバンドギャップヘテロ p n 接合ダイオードの特性改善	公表
	配分機関	科学研究費補助金 基盤研究（C）一般 ☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			公表
1	言語種別	該当なし	
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ☐ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			公表
1	発表年月日	2023年3月16日	
	発表テーマ	p-NiO/n-Ga ₂ O ₃ ヘテロダイオードの FLR 構造の耐圧シミュレーション	
	会議名	令和5年電気学会全国大会、講演論文集、221-B1 4-009	
	主催者	電気学会	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	口頭（一般）	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2023年3月15日～17日	
	発表者・共同発表者	池上啓太，唐澤直輝，矢野浩司，中込真二	
			個人研究費課題 ☒ 該当 ☐ しない

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

学会発表			公表
2	発表年月日	2023 年 3 月 16 日	
	発表テーマ	加熱 B-Ga ₂ O ₃ 基板上に電子ビーム蒸着によって形成した NiO 薄膜	
	会議名	第 70 回応用物理学会春季学術講演会、講演要旨集、16p-E102-12	
	主催者	応用物理学会	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	口頭（一般）	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2023 年 3 月 15 日～18 日	
	発表者・共同発表者	中込真二，安田隆	
個人研究費課題 ☒ 該当 ☐ しない			

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			公表
1	期間	該当なし	
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			公表
-------	--	--	----

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

1	発表年月日	該当なし	
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			公表
1	受賞年月日	該当なし	
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			公表
1	取得国	該当なし	
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			公表
1	期間	数回	
	活動形態		
	タイトル、種別	論文査読	
	役割	レフリー	
	主催者・発行元、場所	ジャーナル	
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	
1	理工学研究科長	大学院アンケートの結果を集計しまとめた。理工学研究科と学部との接続の資料をまとめた。定員充足は満たせていない。	公表
2	研究助成審査委員会 委員長	通常通りの研究助成の審査と前年度の研究報告会を行った。個人研究費に関する事柄については、客観的な研究業績指標の導入が決まり、これを参考にした個人研究費の再配分が R5 年度からスタートする。	
3	研究推進専門部会長	教員の研究業績の状況を過去3年分まとめて公表し、教員に業績の積み上げ、公表を促した。	
4	2年次クラス担任	学期始めなどに一部の学生に面談を実施、奮起を促した。また、R4 年度末には留年者・成績不良者の保証人に宛、連絡・説明用の手紙を作成し、成績の通知に同封した。	

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	
*****	*****	非公表

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	情報電子工学科	准教授	野竹 孝志	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	電磁気学、電気基礎、オプトエレクトロニクス、情報通信工学、フレッシュマンセミナー、情報電子工学実験Ⅲ・Ⅳ		公表
(2) 大学院担当科目	光情報デバイス工学特論		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）	令和4年度	授業において毎回小テストを実施し学生の理解度を把握し、次回の授業内容を調整するなどの工夫をしている	
(2)	作成した教科書、教材、参考書	令和4年度	「電磁気学」、「オプトエレクトロニクス」、「情報通信工学」に関しては講義資料を自作配布し講義している。	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項	令和4年度	情報電子工学科1年生の自主ゼミ（電気主任技術者試験合格を目指した勉強会及びプログラミング言語C#に関する勉強会）を週一回開催し、授業以外の勉強をサポートしている。	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	非線形パラメトリック波長変換によるテラヘルツ光の超高感度検出	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	科学研究費助成事業 基盤研究（B）「テラヘルツ光の量子状態生成と量子計測応用の開拓」	公表
	配分機関	日本学術振興会 ☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	英語	公表
	発行・発表の年月	2022	
	形態種別	研究論文	
	査読	査読あり	
	標題	Optical up-conversion based cross-correlation for characterization of sub-nanosecond terahertz-wave pulses	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	Opt. Express	
	掲載区分	国外	
	出版社・発行元		
	巻・号・頁	30(7), pp.11217-11224	
	総ページ数	8	
	著者・共著者	Y. Takida, K. Nawata, T. Notake, T. Otsuji, and H. Minamide	
個人研究費課題 ■ 該当 ・ □ しない			

著書・論文			
2	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2022	
	形態種別	研究論文	
	査読	査読あり	
	標題	バックワード・テラヘルツ波パラメトリック発振におけるカスケード波長変換	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	応用物理	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元		
	巻・号・頁	91 (1), 32-36	
	総ページ数	5	
	著者・共著者	縄田 耕二, 瀧田 佑馬, 野竹 孝志, 南出 泰亜	
個人研究費課題 ■ 該当 ・ □ しない			

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

著書・論文			公表
3	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2022	
	形態種別	研究論文	
	査読	査読あり	
	標題	バックワード・テラヘルツ波パラメトリック発振の研究と非破壊検査応用	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	レーザー研究	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元		
	巻・号・頁	50(4), 172-176	
	総ページ数	5	
	著者・共著者	南出 泰亜, 縄田 耕二, 瀧田 佑馬, 野竹 孝志,	
個人研究費課題 ☐ 該当 ☒ しない			
著書・論文			公表
4	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2022	
	形態種別	学術書	
	査読		
	標題	テラヘルツ波パラメトリック光源を用いたリアルタイム危険ガス検知	
	執筆形態	分担執筆	
	掲載誌名	テラヘルツ波産業創成の課題と展望	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	シーエムシー出版	
	巻・号・頁		
	総ページ数	317	
	著者・共著者	縄田 耕二, 瀧田 佑馬, 野竹 孝志, 南出 泰亜,	
個人研究費課題 ☐ 該当 ☒ しない			

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	2022	公表
	発表テーマ	1.5 μ m 帯レーザを用いた高繰り返し光注入型テラヘルツ波パラメトリック発生	
	会議名	第 83 回応用物理学会秋季学術講演会	
	主催者	応用物理学会	
	学会区分		
	発表形式	口頭	
	単独共同区分	共同	
	開催期間		
	発表者・共同発表者	西田 美緒、野竹 孝志、廣澤 賢一、大島 伸夫、瀧田 佑馬、南出 泰亜	
			個人研究費課題 ☐ 該当 ☐ ☒ しない

学会発表			
2	発表年月日	2022	公表
	発表テーマ	KTP 結晶を用いたサブナノ秒レーザー励起 テラヘルツ波パラメトリック発生	
	会議名	The 69th JSAP Spring Meeting	
	主催者	応用物理学会	
	学会区分		
	発表形式	口頭	
	単独共同区分	共同	
	開催期間		
	発表者・共同発表者	瀧田 佑馬、縄田 耕二、野竹 孝志、WANG Yuye、南出 泰亜	
			個人研究費課題 ☐ 該当 ☐ ☒ しない

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

学会発表			
3	発表年月日	2022	公表
	発表テーマ	High-dynamic-range nondestructive testing promoted by 200 W peak-power backward terahertz-wave parametric oscillator	
	会議名	CLEO-PR 2022	
	主催者		
	学会区分		
	発表形式	口頭	
	単独共同区分	共同	
	開催期間		
発表者・共同発表者	Kouji Nawata, Yuma Takida, Takashi Notake, Hiroaki Minamide		
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☒ しない			

学会発表			
4	発表年月日	2022	公表
	発表テーマ	Injection-seeded backward terahertz-wave parametric oscillators at 0.3 and 0.5 THz bands for nondestructive imaging applications	
	会議名	SPIE Photonics Europe 2022	
	主催者		
	学会区分		
	発表形式	口頭	
	単独共同区分	共同	
	開催期間		
発表者・共同発表者	Yuma Takida , Kouji Nawata, Takashi Notake, Hiroaki Minamide		
個人研究費課題 ■ 該当 ・ □ しない			

学会発表			
5	発表年月日	2022	公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	発表テーマ	Optical Up-Conversion-Based Cross-Correlation of Terahertz-Wave Pulses	
	会議名	CLEO 2022	
	主催者	OPTICA	
	学会区分		
	発表形式	口頭	
	単独共同区分	共同	
	開催期間		
	発表者・共同発表者	Yuma Takida, Kouji Nawata, Takashi Notake, Taiichi Otsuji, Hiroaki Minamide,	
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない			

学会発表			
6	発表年月日	2022	公表
	発表テーマ	バックワード非線形光学波長変換によるテラヘルツ波発生検出技術の開発	
	会議名	光・量子ビーム科学合同シンポジウム 2022	
	主催者		
	学会区分		
	発表形式	口頭	
	単独共同区分	共同	
	開催期間		
発表者・共同発表者	南出泰愛、縄田耕二、時実悠、瀧田佑馬、野竹孝志		
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない			

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	2022 年 6 月 29 日	公表
	授与機関名	大阪大学レーザー科学研究所	
	受賞学術賞名	大阪大学近藤賞 技術貢献賞	
	受賞区分	共同	
	概要	バックワード非線形光学波長変換によるテラヘルツ波発生検出技術の開発	

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			公表
1	期間	2013 年～	
	活動形態		
	タイトル、種別	IEICE マイクロ波テラヘルツ光電子技術研究専門委員会	
	役割	専門委員	
	主催者・発行元、場所	電子情報通信学会	
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	情報電子工学科 1 年担任		
2	入試問題チェック者（数学）		
3			
4			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	情報電子工学科	教授	本田 秀樹	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	基礎物理学 B、電子計測の基礎、自動車制御工学、パワーエレクトロニクス、フレッシュマンセミナー A、B、現代工学概論、基幹工学実習、物理学実験、情報電子工学実験Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、情報電子工学演習、卒業研究		公表
(2) 大学院担当科目	シミュレーション情報学特論、機構デバイス学特論		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
該当なし				

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	電力ネットワークの信頼度向上および合理的な設備形成に関する研究	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	配電設備における合理的な耐雷設計に関する研究	公表
	配分機関	東北電力ネットワーク受託研究 ☐ 公表できない	
2	研究課題	電線の絶縁耐力格差を用いた雷事故抑制に関する研究	公表
	配分機関	共創研究センタープロジェクト事業 ☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	該当なし	公表
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	2022 年 9 月 9 日	公表
	発表テーマ	配電線支持点の絶縁耐力格差による雷事故抑制効果に関する検討（第2報）	
	会議名	電気学会 エネルギー部門大会	
	主催者	電気学会	
	学会区分	全国大会	
	発表形式	口頭	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2022 年 9 月 7 日～9 日	
	発表者・共同発表者	本田 秀樹、久納 敬史、渡部 卓也、佐藤 智之、古賀 佳康	
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない



2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

学会発表			
2	発表年月日	2022年11月21日	公表
	発表テーマ	A Study of Reduction of Power Outage due to Lightning using the Different Dielectric Strength of Supporting Points of Distribution Lines	
	会議名	International Workshop on High Voltage engineering 2022	
	主催者	Institute of Electrical Engineers of Japan	
	学会区分	国際会議	
	発表形式	口頭	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2022年11月21日～22日	
発表者・共同発表者	Hideki Honda, Takafumi Kuno, Yoshiyasu Koga		
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない			

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

IV 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	2020年6月4日～現在に至る	公表
	活動形態		
	タイトル、種別	高電圧技術委員会	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	役割	1号委員	
	主催者・発行元、場所	電気学会	
	対象		
	概要	高電圧一般・応用に関する研究調査活動を行う電気学会電力・エネルギー部門の委員会。	

活動			公表
2	期間	2019年12月1日～現在に至る	
	活動形態		
	タイトル、種別	高圧配電線の雷リスクマネジメント手法の構築に向けた課題調査専門委員会	
	役割	委員	
	主催者・発行元、場所	電気学会	
	対象		
	概要	高電圧技術委員会の下で委員会タイトルの課題調査活動を行う委員会。	

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	就職指導部長	特記事項なし	
2			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	情報電子工学科	教授	安田 隆	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	電磁気学ⅠB, 電磁気学Ⅱ, 半導体デバイス工学, 電子物性工学, 磁気工学, フレッシュマンセミナー, 基幹工学実習, 現代工学, 情報電子工学実験Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ, Ⅴ, 情報電子工学演習, 卒業研究		公表
(2) 大学院担当科目	光情報デバイス工学特論, 光半導体デバイス工学特論		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	酸化半導体の物性制御	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	該当なし	公表
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ☐ ・ ☐ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	2023. 3. 16 加熱 β -Ga ₂ O ₃ 基板上に電子ビーム蒸着によって形成した NiO 薄膜 第70回応用物理学会春季学術講演会 応用物理学会 2023. 3. 15-3. 18 中込真二	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ☐ ・ ☐ しない

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			公表
------	--	--	----

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

1	取得国	該当なし	
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	
1	理工学部教務委員	2017（平成29）年4月～	公表
2	学生部委員会委員	2021（平成29）年4月～	
3	実験廃棄物処理委員会委員	2021（平成29）年4月～	
4	毒物劇物管理責任者	2021（平成29）年4月～	
5	放射線障害予防委員会委員	2021（平成29）年4月～	

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	情報電子学科	助教	劉 忠達	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	情報活用法Ⅰ，情報処理基礎，情報ネットワーク，卒業研究，情報電子工学演習，情報電子工学実験Ⅲ・Ⅳ，情報社会論，フレッシュマンセミナー，物理学実験		公表
(2) 大学院担当科目	該当なし		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	暗号に応用する疑似乱数に関する研究	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	楽譜の音符列から、人間が演奏時に付加する感性情報を推量し演奏テンポを推定する	公表
	配分機関	日本学術振興会（科研費） ☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文				公表
1	言語種別	日本語		
	発行・発表の年月	2022 年 9 月		
	形態種別	研究論文		
	査読	あり		
	標題	機械学習によりある吹奏楽器演奏者が推定したテンポを多層パーセプトロンで模擬する試み		
	執筆形態	共著		
	掲載誌名	管楽芸術論集		
	掲載区分	国内		
	出版社・発行元	日本管楽芸術学会		
	巻・号・頁	Vol. 1, pp1-20		
	総ページ数	20		
	著者・共著者	川村 暁, 劉 忠達, 村上 武, 渡部 謙一, 長谷川 正規, 牛渡 克之, 白藤 淳一, 吉田 等明		
個人研究費課題 ☐ 該当 ☒ しない				

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	2022 年 9 月 14 日	
	発表テーマ	S-box による Xorshift 乱数の非線形化	
	会議名	FIT2022 第 21 回情報科学技術フォーラム	
	主催者	電子情報通信学会, 情報処理学会	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	口頭（一般）	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2022/09/13～2022/09/15	
	発表者・共同発表者	劉 忠達, 佐々木 慶文	
個人研究費課題 ☐ 該当 ☒ しない			

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			公表
1	期間	該当なし	
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1		該当なし	
2			
3			
4			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表
